backlog by nulab

建設業

建設現場のための、安全な情報共有のルールとBacklog活用パターン



図面共有・工事写真・安全書類・確認履歴を、
工事案件単位で整理する

建設現場の「情報管理」における3つの盲点

課題 01

外部との情報共有手段は？

メール …… 38%

専用システム…. 19%

紙 …… 18%

関係者の数だけ連絡ツールが乱立

連絡手段がチャットツールやメールなどに分散。最新図面の共有範囲や確認履歴が各ツールに置き去りになり、統制が効かない。

課題 02

協力会社・チームメンバーのアクセス権限見直し

29%

「見直していない／ほとんど見直していない」と回答

公開範囲がコントロールできない

元請・下請・協力会社ごとに閲覧範囲が異なるのに、「この情報はA社だけに見せたい」などの制御ができず、情報流出のリスクが残る。

課題 03

過去のトラブル対応や改善の記録がすぐ見返せるか

78%

「すぐ見返せる状態にない／探しにくい」と回答

対応履歴が残らない

「誰がいつ最新の図面を共有したか」の証跡が追えないため、再確認の負担が増大する一方、トラブル発生時には責任の所在が曖昧に。

【アンケート調査】
「仕事に関するアンケート」（調査実施：2026年6月）本項の調査データは、勤務先業種を「建設業」と回答した人（n数＝100）が対象

©2026 Nulab Inc. All Rights Reserved.

リスクを生む根本原因は「ツール・役割・人」の分断

原因 01

情報が「案件単位」ではなく連絡ツールごとに残る

メールやチャットツール、共有フォルダサービスごとに図面・写真・依頼がバラバラに残り、最新版と経緯を案件単位で追えない。

原因 02

共有範囲を案件・役割ごとに切り分けるルールがない

工区や役割ごとに見せる資料が異なるのに、共有範囲が整理されておらず、社外関係者による不要な閲覧・情報流出を招く。

原因 03

確認者を個人単位で記録する運用になっていない

メールや社内共有アカウントで確認事項を開いても、誰が担当したのか記録に残らず、承認の経緯や責任の所在を後から追いづらい。

©2026 Nulab Inc. All Rights Reserved.

安全な情報共有を実現する3つのアプローチ

改善策 01

社外関係者を含めた「1つの共通の置き場所」を作る

連絡ツールの乱立を防ぐため、元請・下請・協力会社の全員が同じ情報にアクセスしてやり取りできる「共通のプラットフォーム」を利用する。

改善策 02

工事案件ごとに「情報の壁（共有範囲）」を整理する

関係者が多く入れ替わるため、工事案件や役割ごとに情報にアクセスできる範囲をあらかじめ明確化し、不用意な情報流出を防ぐ。

改善策 03

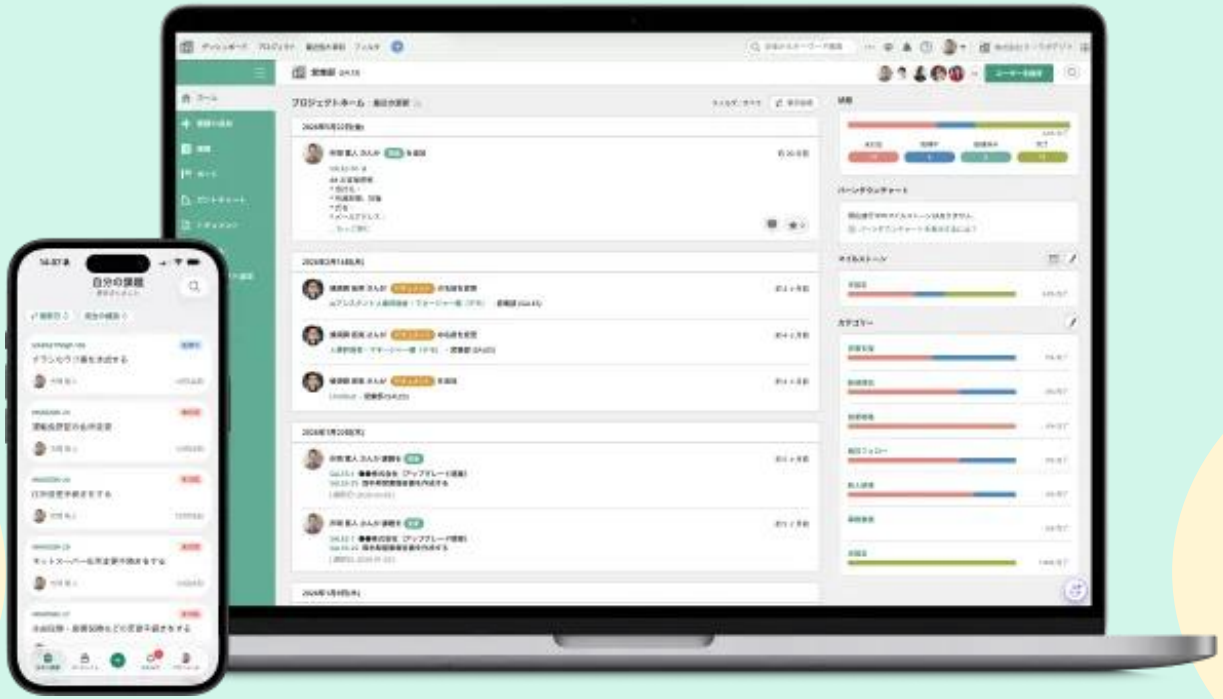
「全員にIDを配布できる環境」を整える

関係者全員に個別のIDを渡せる環境を用意する。「誰が確認したか」を個人単位で残せる状態を作ることが、現場のガバナンスの基盤になる。

©2026 Nulab Inc. All Rights Reserved.

安全な情報共有の実現をサポートする「Backlog」とは

Backlogは、建設現場のあらゆる「工程管理・資料共有・やり取り」を一元化できる、
プロジェクト・タスク管理ツールです。



日々発生する業務を管理

- 図面確認
- 工事写真の提出
- 是正対応
- 安全書類の確認

共通画面で経緯を確認

- 確認コメント
- 差し戻し理由
- 関連ファイル
- ドキュメント

©2026 Nulab Inc. All Rights Reserved.

履歴を残す「タスク管理」と、ルールを定着させる「ドキュメント」

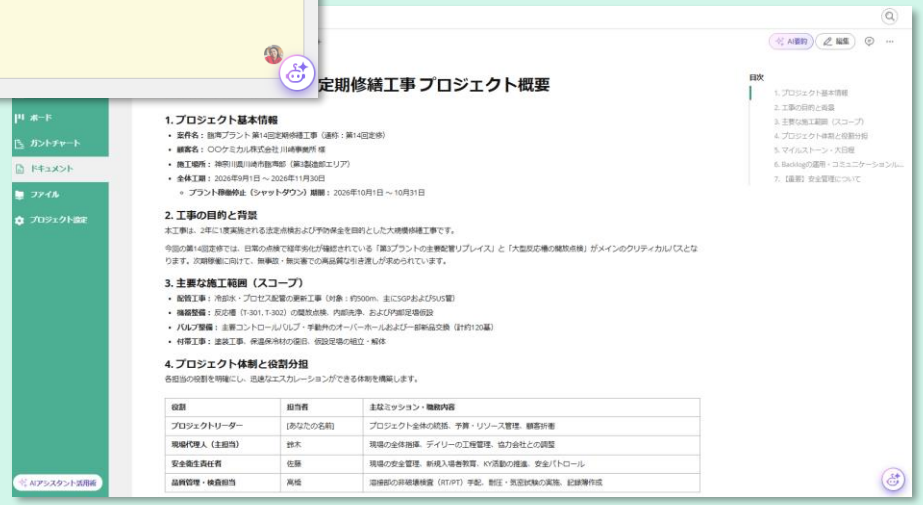
【タスク管理】すべてのやり取りと資料を紐づけて一元化

「誰が・いつ・どう判断したか」の経緯が時系列で残るため、後からの振り返りが確実に行えます。

【ドキュメント機能】現場のルールやマニュアルを蓄積・共有

確認フローや提出ルールを明文化。担当者ごとのバラつきをなくし、業務の標準化を実現します。



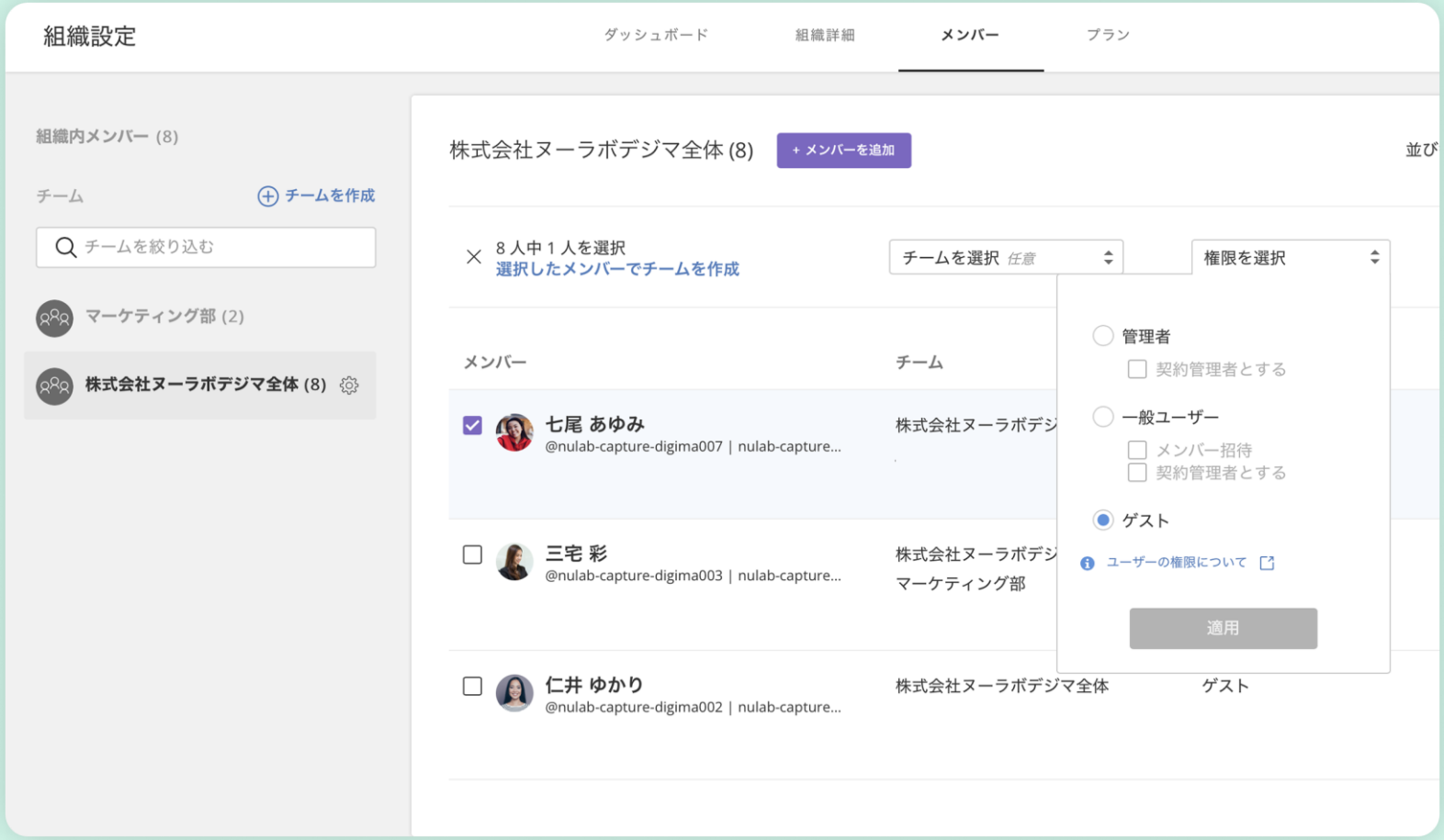


©2026 Nulab Inc. All Rights Reserved.

アクセス制限で、情報の壁と一元管理を両立

工事案件ごとにプロジェクトを分け、関係するメンバーや協力会社のみを招待できる。

他現場や社外秘の情報へのアクセスを確実にシャットアウトし、安全な情報共有を実現します。

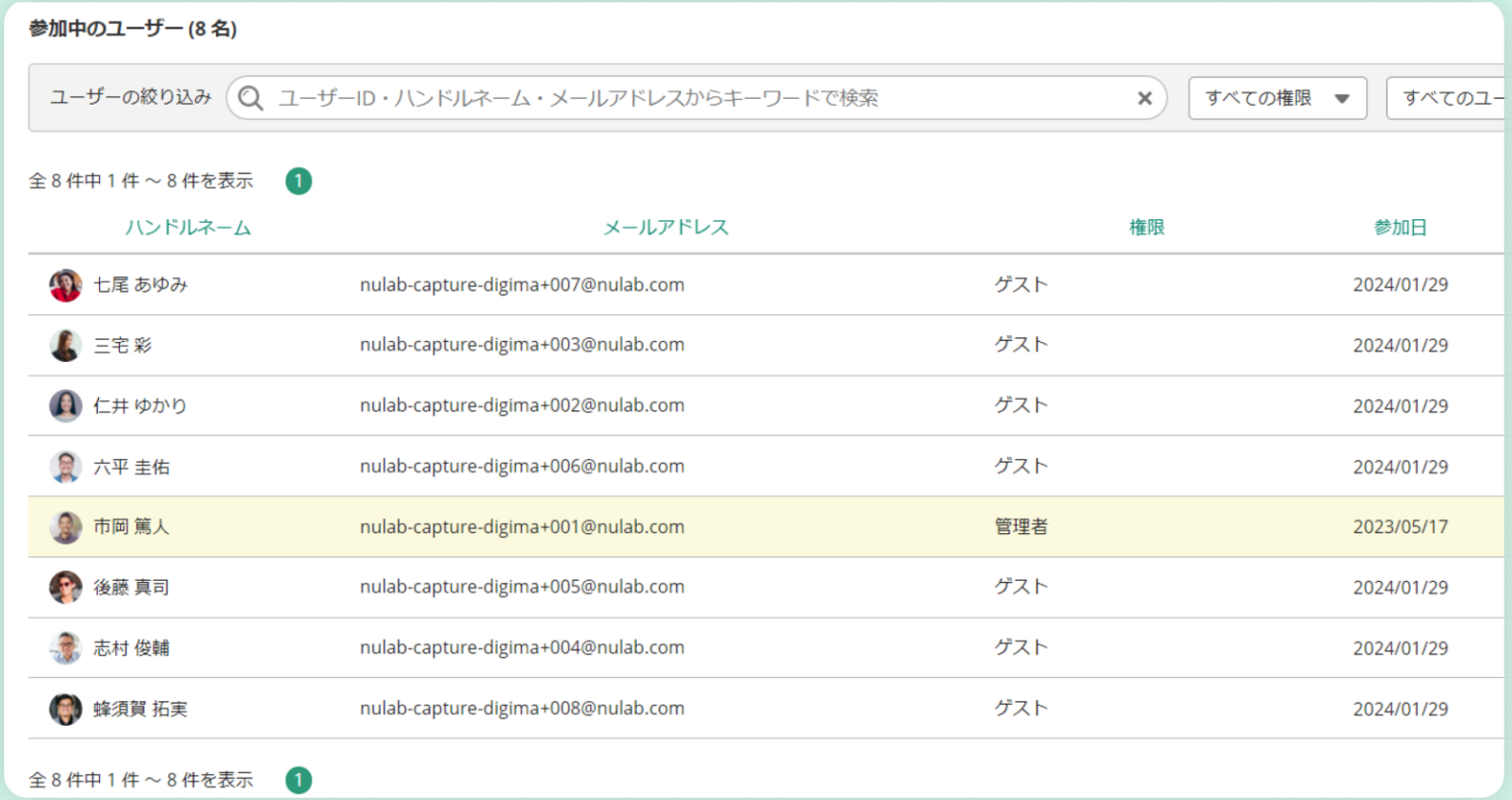


©2026 Nulab Inc. All Rights Reserved.

協力会社を招待しても追加費用ゼロの「ユーザー数無制限※」

ユーザー数無制限※で、定額料金内でユーザーアカウントを発行できるため、コストを気にせず関係者全員に個別のIDを配布できます。

関係者全員にアカウントを付与できるため、「アカウントを持たない人に個人的に図面を送る」といった情報流出リスクを根本から防ぎます。



※プランにより異なります。詳しくは料金プランをご確認ください。

©2026 Nulab Inc. All Rights Reserved.

建設業の現場で使えるBacklog活用パターン

活用シーン 01

【着工】
協力会社への図面共有

Backlogでの管理方法

工事案件ごとに図面確認のタスクを作成し、対象の協力会社、確認期限、最新の図面ファイルをまとめる。

効果

図面の共有履歴が時系列で残るため、「最新版を見落とした」「古い図面で施工してしまった」という手戻りを防ぐ。

活用シーン 02

【施工】
工事写真の提出・確認

Backlogでの管理方法

写真提出タスクを作成し、提出者、撮影箇所、確認者、差し戻し理由、再提出状況をコメントで管理する。

効果

コンクリート打設前など、後からやり直しがきかない「隠蔽部」の撮り忘れや、再撮影の手間を未然に防ぐ。

活用シーン 03

【検査】
監督員確認・承認履歴

Backlogでの管理方法

確認依頼、指摘事項、承認条件、元請としての判断理由を、該当するタスクのコメントとして残す。

効果

「なぜその判断でOKを出したか」の経緯が残るため、設計や発注者との「言った・言わない」のトラブルを回避できる。

活用シーン 04

【竣工】
協力会社アクセスの棚卸し

Backlogでの管理方法

工期が終了して現場を離れる協力会社のメンバーを、そのプロジェクトの参加メンバーから外す。

効果

終わった現場の図面や機密情報が、いつまでも外部から閲覧できる状態を防ぎ、情報流出のリスクを防ぐ。

©2026 Nulab Inc. All Rights Reserved.

外部委託先との「安全でスムーズな情報共有」事例

事例01 ガス提供会社／設計開発、システム開発・保守・運用

複数ベンダーとのデータ受け渡しを、セキュリティ要件を満たす環境で管理

【Before】
大規模プロジェクトの立ち上げにあたり、複数ベンダーと「セキュアな状態でデータを受け渡しする環境」が必要。

【After】
ベンダー各社との定例会議ややり取りをBacklogに集約。セキュリティ要件を満たしつつ、関係者間の確認事項をスムーズに追える体制が整いました。

＞＞詳細はこちら

事例02 公的機関・団体・NPO／システム開発・保守・運用

情報を集約し、関係部署・社外パートナーとの進捗管理を効率化

【Before】
外部ベンダーとのやり取りがメール中心だったため、課題管理が煩雑になり、情報が埋もれやすい状態。

【After】
「タスクを軸」に会話を進めることで、別の話題が混在するのを防止。ファイルも一元管理し、データの散逸や多重管理を未然に防げるようになりました。

＞＞詳細はこちら

導入事例一覧はこちらからご覧いただけます

©2026 Nulab Inc. All Rights Reserved.

リスクを抑えて定着させる「安全な情報共有」の始め方

STEP
01

対象業務を選ぶ

外部共有が多い業務や履歴が重要な業務から始める。すべてを一度に扱わず、対象を絞ることが定着の近道。

STEP
02

共有範囲を決める

誰がどの情報を見るかを整理。社内担当者、協力会社、監督員など関係者を明確にし、案件単位で共有範囲を設定。

STEP
03

残す情報をそろえる

担当者、期限、関連ファイル、確認コメント、差し戻し理由、完了条件など、残す情報をあらかじめ統一する。

STEP
04

振り返る

運用後は、探す時間や確認漏れ、差し戻し回数、説明のしやすさがどう変わったかを振り返る。効果を共有することで、現場に「使い続ける理由」が生まれ、ツールの定着につながる。

Point 「外部とのやり取りが多い1案件」から、安全な共有体制を試しましょう

©2026 Nulab Inc. All Rights Reserved.

お気軽にお問い合わせください

無料トライアルで試す
まずは使ってみる



30日間無料で試す

オンラインセミナーで学ぶ
まずは話を聞きたい



オンラインセミナー

個別相談会で相談する
相談しながら決めたい



個別相談会

©2026 Nulab Inc. All Rights Reserved.

会社概要

社名	株式会社ヌーラボ
設立	2004 年3 月
事業内容	チームのコラボレーションを促進するサービスの開発・提供 ● プロジェクト・タスク管理ツール「Backlog」 ● オンラインホワイトボードツール「Cacoo」 ● 組織の情報セキュリティ・ガバナンスを強化するツール「Nulab Pass」 ● ワークフロー自動化ツール「Nulab Flowbase」
本社	福岡県福岡市中央区天神一丁目11番1号

©2026 Nulab Inc. All Rights Reserved.